日医発第867号（情シ37）F
令和2年11月4日

郡市区医師会長　殿

日本医師会長　中川俊男
（公印省略）

令和2年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

平素より、本会会務遂行にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年2月に開催いたしました令和元年度の協議会は、お蔭さまで全国から多数の参加者が集い、成功裏に終始いたしました。

今般、日本医師会が医療の専門家集団として、自ら先頭に立って医療現場のICT化を推進するため、今年度の協議会は「つながれ、輝け　医療ICT」をメインテーマとし、「日医ICT戦略セッション」、「オンライン診療の在り方と展望」、「新たな感染症と共存するために必要なICTツール」、「オンライン資格確認とそのインフラを活用した今後の医療」、「特別講演」、「医療現場での夢のあるAI活用」からなるプログラムで、令和3年3月6日（土）、7日（日）の2日間に亘りWEBで開催することになりました。

詳細につきましては、下記資料及び専用ホームページをご参照いただき、会員の先生方へのご周知と参加にご配慮を賜りたくお願いいたします。開催通知は郡市区医師会へもFAXしております。また、一般会員の先生方には日医ニュース（11月20日号、12月20日号）を通じてご案内する予定です。

なお、内容等ご不明の点は担当事務局である情報システム課にお問い合わせ下さい。

記

別紙1. 令和2年度日本医師会医療情報システム協議会プログラム
別紙2. 令和2年度日本医師会医療情報システム協議会開催要項

専用HP：https://www.med.or.jp/japanese/members/info/sys/2020/

以上

加八潮医師会 収受印 2.11.-4 第963号

令和２年度日本医師会医療情報システム協議会プログラム

別紙１

メインテーマ：つながれ、輝け　医療 ICT
令和３年３月６日（土）

総合司会：長島公之（日本医師会常任理事

14:00 ～ (10 分)	**開会挨拶** 中川俊男（日本医師会長） 須藤英仁（運営委員会委員長・群馬県医師会長）
14:10 ～ 15:00 (50 分)	**Ⅰ．日医 ICT 戦略セッション** 座長／運営委員（塚田委員） ・日本医師会における医療・介護分野の ICT 化の取り組み【長島常任理事】
15:00 ～ 16:40 (100 分)	**Ⅱ．オンライン診療の在り方と展望** 座長／運営委員（藤原委員、小室委員） ・オンライン診療とは 一般財団法人医療情報システム開発センター理事長　山本隆一（20 分） ・離島へき地のオンライン診療実証研究の報告 山口県立総合医療センター診療部長　原田昌範（20 分） ・オンライン診療システムを活用したコロナ対策の実際 東京都医師会　土屋淳郎（20 分） ・オンライン妊婦健診・遠隔妊婦健診に関する実証研究の報告 日本産婦人科医会常務理事　平田善康（20 分） ・医療という ART（対面診療の芸術性）に役立つ ICT ツール ～感動する脳の仕組み～ 国立精神・神経医療センター神経研究所部長　本田学（20 分）
16:40 ～ 16:50	＜休憩　10 分＞
16:50 ～ 18:30 (100 分)	**Ⅲ．新たな感染症と共存するために必要な ICT ツール** 座長／運営委員（目々澤委員） ・今後の e ラーニングシステムのあり方 日本医師会常任理事　羽鳥 裕（20 分） ［新型コロナウイルス感染症に対し政府が開発したシステムの検証］ ・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS） 厚生労働省新型コロナ感染症対策推進本部調整官　佐藤康弘（10 分） ・新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS） 厚生労働省医政局地域医療計画課（厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部医療班 G-MIS チーム）佐藤拓也（10 分） ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA） 厚生労働省新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部技術参与　三宅　邦明（10 分） ［総括］自見はなこ参議院議員（10 分） ［総合討論］　セクションⅡ、Ⅲの演者全員及び長島常任理事（40 分）

令和3年3月7日（日）

総合司会：長島公之（日本医師会常任理事

10:00 ～ 12:00 (120分)	Ⅳ. オンライン資格確認とそのインフラを活用した今後の医療 座長／運営委員（牟田委員、西委員） ・これからはじまるオンライン資格確認 厚生労働省より制度の整理、解説（総論） 厚生労働省保険局医療介護連携政策課長　山下護（15分） これから導入する医療機関への解説 日本医師会ORCA管理機構　西川好信（15分） 電子処方箋 厚生労働省医薬・生活衛生局薬事専門官　上田悠介（15分） ・PHR・特定保健指導システム 産業医科大学公衆衛生学教授　松田　晋哉（25分）（予定） ・今後のPHRや電子カルテの情報の在り方 九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター長　中島直樹（25分） [総合討論]　演者及び長島常任理事（25分）
12:00 ～ 13:00 (60分)	Ⅴ. 特別講演 座長／運営委員（服部委員） ・個人情報は誰のもの　＞　総論（東京大学名誉教授　樋口範雄）（60分）
13:00 ～ 15:20 (140分)	Ⅵ. 医療現場での夢のあるAI活用 座長／運営委員（塚田委員、若林委員） ・AIの消化器内視鏡現場への応用について ただともひろ胃腸科肛門科院長　多田智裕（20分） ・AIによって変わる医療の未来 株式会社プレシジョン代表取締役社長　佐藤寿彦（20分） ・診療所での活用例　AI問診など 東京都医師会　目々澤肇（20分） ・AIホスピタル 慶應義塾大学医学部坂口記念システム医学講座・特任教授洪繁（20分） ・AI Surgeryを実現するスマート治療室SCOT 東京女子医大先端生命医科学研究所教授　村垣善浩（20分） ・医療AIの具体的事例 大阪大学教授・医学部附属病院 医療情報部 部長　松村泰志（20分） [総合討論]　演者及び長島常任理事、羽鳥常任理事（20分）
15:20 ～ 15:30	次期担当県挨拶　金井忠男(埼玉県医師会長) 閉会挨拶　服部徳昭（運営委員会委員会委員・群馬県医師会理事）

令和２年度日本医師会医療情報システム協議会

別紙２

開催要項

１．主　催：日本医師会

２．開催日：令和３年３月６日（土）、７日（日）

３．開催方法：WEB 開催（日本医師会に来館しての参加はできません）

４．内　容：別紙プログラム参照／メインテーマ　つながれ、輝け　医療 ICT

５．開催通知

（１）文書管理システムを通じて送付

（郡市区医師会は同様の文書を一斉同報ファックスで通知しております。）

（２）日医ニュース（11 月 20 日号、12 月 20 日号）にて開催案内と会員参加募集

６．参加者および参加申し込み

（１）参加対象者

日本医師会会員および都道府県医師会・郡市区医師会の事務職員

（２）参加申し込み

方法：WEB 開催のためホームページからの応募のみとさせていただきます。

https://www.med.or.jp/japanese/members/info/sys/2020/

※11 月から申し込み受付開始いたします。

※定員 900 名を超える場合は先着順といたします。

※参加申し込みは ASP サービスを利用した入力フォームからになります。

Thanks メール（自動受信完了メール）が、即日に届かない場合は、協議会開催の招待メールも届きませんので、ご注意ください。

※ホームページに応募状況を掲載してお知らせいたします。

（３）　参加費：無料

７．視聴方法

お申込みいただいたメールアドレス宛に「１接続の招待メール」（アクセスいただく URL とアカウント）をお送りします。１時間前からテスト配信を行いますので、アクセスいただけますようお願いいたします。

８．担当事務局：日本医師会情報システム課 Tel:03-3942-6135（直通）Fax:03-3942-7036（直通）

メールアドレス sys2020@po.med.or.jp